

通学路対策箇所図(イメージ)

【30-1】冬期、路面が凍結の際、車がスリップして危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・ガードパイプ設置

【4-2】交通量が多く、横断歩道開口部が広いため危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・ポラード設置

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校
- ・道路管理者
- ・建設課
- ・生活安全課
- ・警察署

● : 要対策箇所

【3-1】歩道橋の頂上付近が凸凹で足を取られ危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・凹凸をなくす部分修繕の実施

【5-6】道路が狭く、歩行者と車がすれ違う際に危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・幅員の狭い箇所の路肩の強調を促すエスコートラインの設置

長根小学校

【4-1】急な階段で手すりが片方しかなく危険である。また、道路に出る際見通しが悪く危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・手すりの設置
・飛び出し注意の看板設置

【4-3】交通量が多く、歩車道境界ブロックしかないため危険である。

対策前

対策後



<対策メニュー>
・防護柵設置

